



2020・5・1

第 372 号

101-0065 東京都千代田区  
西神田 2-5-7 神田中央ビル 303

TEL 03-3221-5075

FAX 03-3221-5076

## 「口にマスクをしても目や耳は見開いて」

### コロナ口実の改憲許さない

#### 【新潟県／全国市民アクション@新潟】

「安倍 9 条改憲 NO！全国市民アクション@新潟は 4 月 20 日昼、新潟市の古町商店街で宣伝し、各界 6 人が「新型コロナを口実にした改憲を許すな」と訴えました。

県平和運動センターの斎藤悦男議長は、「補償不十分で休業できない事業者・労働者がいる。国をあげた補償が必要」「医療現場の資材確保、医療・介護従事者の PCR 検査が感染拡大防止に不可欠」と指摘。人命より経済優先の安倍政権の姿勢を批判しました。

新社会党の鶴巻俊樹副委員長は、コロナ危機のもとの行動の制限は必要だが、言論の制限は許されない、口にマスクはしても目や耳はしっかりと社会に見開かないといけないと訴えました。

県 9 条の会事務局長の工藤和雄弁護士は、コロナ危機で救いを求める国民の声に安倍首相は応えているかと語りかけ、ウイルスとのたたかいはスピードとボリューム（資金）が欠かせない、不要不急の兵器の

### 連休明け「野党抜きで憲法審開け」

自民党の新藤義孝与党筆頭幹事は、4 月 23 日に衆院憲法審査会を開くことを野党によびかけました。与党の思惑は国会議員にコロナウィルスの感染が広がった場合に国会が機能しなくなることを口実に改憲論議を始めることにありました。

野党がこれに応じなかったため、自民党内には「大型連休後に野党抜きで開催すべきだ」（閣僚経験者）との強硬論も出ています（24 日「読売」）。また、公明党の北側一雄副代表も 23 日の記者会見で、「緊急事態の中で、国会の機能を果たしていけるかという観点からしっかり憲法審で論議してほしい」と述べました。

爆買いをやめてコロナ対策に使えと訴えました。

### 「憲法 9 条こそ世界のお手本に」

【札幌市／琴似 9 条の会等】 「新型コロナウィルス感染に便乗して、憲法を変えるなんて許せません」一。安倍首相が「緊急事態宣言」を全国に発し、人通りもまば

らになった 19 日昼、琴似 9 条の会と戦争させない札幌西区民の会は、「安倍 9 条改憲 NO！全国緊急署名」を地下鉄琴似駅前呼びかけました。

「子どもたちに平和な日本を引き継ごうなくせ原発・核兵器、守れ憲法 9 条」の横断幕を掲げ、「自粛と補償はセットで」とビラを手渡しました。

「憲法を変える必要はありません」ときっぱり語るのは、年配の夫婦です。「世界の国は、武器を持たず、戦争しないと誓った日本の憲法を見習ってほしい」と、そろってペンをとりました。

区民の会の阿部紘司事務局長と西区革新懇の若狭博光事務局長が「一日も早い感染収束とともに、『戦争する国』にしないことが大事」「外出を控え、買物もままならず国民生活が深刻になる一方。消費税を 5%に戻すなど、思い切った対策をとるべきです」と訴えました。

## それぞれの生活の場で署名集め

【川崎市多摩区／生田 9 条の会】 ニュース 79 号を配達して 5 日後、I さん夫妻が署名用紙をご家族と友人で埋めて、訪ねてこられました。奥さんは持病がおありなのに、元気な姿でほっとしました。翌日から次々と読者の皆さんが我が家を訪ねてくれました。

「署名終わられたら、いただきに伺いますのでお電話ください」とのお手紙を入れておいたのに、皆さん届けに来て頂き、恐縮する一方、ありがたく心温まる思いでした。

94 歳の M さんは「音楽サークルが中止なので、ご近所をまわってお願いしてきたの」。

米寿を迎えた S さんは「教会の催しもサークルも中止で、仕方がないからご近所を片端からまわったの。政治的なことは私にはわからないけど、とにかく平和が大切。それには九条を変えてはいけない。みなさん快く署名してくれたわ」と 7 枚 35 筆の署名用紙をいただきました。只々、頭がさがる思い。

わが子の学童クラブ時代の元先生の F さんは 3 枚 15 筆。「私こんなことしかできないから。がんばってください。いつまでなの。用紙をポストに入れといて」と。感激！ 奥さんが難病の K さん、ご自身が腰痛の F さん、花を栽培して皆を楽しませてくれている T さん、麻生区の友人を訪ねて署名をもらった H さん等々、三月半ばまでに 9 名の方が、計 93 筆の署名を届けて下さいました。

私も皆さんのようにご近所を回ろうと決意し、隣近所から始めました。隣の 50 代の Y さんは「森友で亡くなられた職員の気持ちを思う。安倍政権のデータ改ざんなどひどすぎ。しかし、自民も含め、安倍に変わる選択肢がない。野党も旧民主党の幹部がそれぞれの党首でバラバラ……」

私「市民の 13 項目の共通政策のもと、旧民主党系以外に共産党や社民党も入った野党共闘が進み、静岡の補欠選挙では統一候補もできた」などの会話の後にご家族の署名をいただきました。子どもの保育園時代の近隣知人の K さん「戦争だけはごめんだものね。娘家族も明日くるから頼んでみる」と約束してくれました。

今後も他の近隣の人々や読者をまわろうと思います。（ニュース配達担当・新海宣彦「生田 9 条の会ニュース」第 80 号）

## 市民の中に広がる憲法への思い

【静岡県掛川市／九条の会掛川】 憲法九条を守る掛川市民アクションでは、2月16日に元文部科学事務次官だった前川喜平氏を迎えて生涯学習センターホールで講演会を開きました。安倍政権の桜を見る会などモリ、カケに始まる疑惑隠しと政治の私物化が解明されない中、新型コロナウイルスへの対応も後手後手でみんなの不安が増す中で取り組まれ、皆さんの安倍政治に対する怒りと真実を知りたいとの思いが結実し600人近い入場者で大成功。掛川の地で民主的な講演会でこれほどの人を集めたことは初めてだと思いました。

世間一般が自民公明の安倍政権に流されているように思える今、それでもおかしい、本当を知りたい、何か行動を、の思いを持っている人々が掛川にもこんなに。

九条の会掛川に集っている人々が長年寺小屋や講演会、探鳥の会などを続け、また、それぞれの思いで原発反対の駅前金曜行動や映画の上映行動を続ける。憲法九条を守る掛川市民アクションが作られて活動が広がった。九条を守る。九条をないがしろにさせない、憲法を守らせる。何としても生活を守らせる。この地域の人々の思いの受け皿が少しずつ皆さんにも見えてきたのかな。そんな思いを持てた講演会でした。みんなで頑張ってきてよかった。（岡本弘「九条の会掛川通信」4月16日）

## 野党共闘で安倍政権の退陣を

【静岡県／戦争法廃止オールしずおかアクション】 「戦争法廃止オールしずおかアクション」は、安保法制＝戦争法が強行

採決されて4年7ヵ月の19日、戦争法の廃止、安倍9条改憲反対などを訴える宣伝を静岡市葵区で行い、新型コロナウイルス対策をしつつスタンディング行動をしました。

林克代表、合戸政治氏（静岡市9条の会連絡会）らは、「ウソつき安倍政権即時退陣！」の横断幕、「9条壊すな」などのプラカードを持ちアピール。宣伝を立ち止まって見つめる反応などがありました。

話しかけてきた男性（79）は「安倍自民党政権は新型コロナ問題に乗じて、改憲して緊急事態条項による戒厳令まで狙っている。野党共闘で絶対に倒さないといけない」と話していました。

## 軍事費削りコロナ自粛に補償を

【北海道江刺市／江刺憲法9条を守る実行委員会】 江刺憲法9条を守る実行委員会は19日、市中心部繁華街でスタンディングをしました。

2015年9月に安倍政権が安保法制（戦争法）を強行して以降、毎月19日に安保法制廃止、憲法を生かした政治を」と欠かさず行動し、56回目。新しい「米国戦闘機の爆買いやめてコロナ対策へ」「補償の継続を」と書いた横断幕とボードを掲げ、実行委員の宮田汎、八重崎道子、神保貴幸さんがマイクで呼びかけました。

「コロナとのたたかいは長期になります。今こそ憲法を生かし、軍事予算を削り、消費税を5%に、自粛と同時に継続的な補償を要求していきましょう」「コロナに乗じての緊急事態条項などの憲法改悪の動きは許しません」と強調しました。

## 各党代表も参加して朝宣

【札幌市中央区／STOP安倍政治！実行委員会】 札幌市中央区のSTOP安倍政治！中央区実行委員会はこのほど、地下鉄西28丁目駅前で朝宣伝を行いました。安倍9条改憲発議NO署名を呼びかけ、ティッシュ付きビラを配りました。

立憲民主党の村上裕子、日本共産党の小形香織両市議、新社会党の木山誠二札幌圏書記長が訴えました。

「世界では、失業した人びとや廃業に追い込まれた企業への経済支援が行われています。多大な郵送費をかけてのマスクの配布は、世界でも笑いものとなっています」

「緊急事態宣言で国民の自由が制限され、生活苦に追い込まれる人々があってはなりません」「安倍首相は、新型コロナウイルス拡大のもとでも改憲の動きを進めています。ぜひ署名に協力を」と、こもごも語りました。

## 足を踏み出してみたら反応が

【群馬県高崎市／六郷9条の会】 六郷9条の会の富沢さんは、新型コロナウイルスで個別訪問がやりづらい中、隣近所を訪問、10日間で80筆。

きっかけは「会」の代表世話人会での話し合いを受けて、訴えとニュースを届けながらの署名のお願いでした。改憲につながる「緊急事態宣言」（改正特措法）成立の動きも「大変なこと」だと思い、なかなか進まない署名を何とかしなければの思いで取り組んだとのこと。やってみれば多くの方から「安倍の顔などまったく見たく

ない」等の声が寄せられ、励まされたといえます。気張ってやったということではなく、一段落してみれば、積み重なって80筆になっていたのが実感。

（「特定秘密保護法廃止を求める高崎市民の会」第76号）

## 憲法と私

### 元滋賀県知事 武村 正義

私の10代は憲法をめぐる賑やかであった。戦争に負けて3年経って新憲法が施行された。敗戦が小学校5年生であり、新憲法の誕生は中学1年生だった。「新しい憲法ができました。日本はもう二度と戦争をしない国になりました」と担任の先生は教えてくれた。

私たちはこの憲法を素直に受け入れた。戦争のない平和主義の日本。この国はきっといい国になると信じた。しかし2年経つと隣の朝鮮半島で戦争が起こった。にわかには日本の世論も騒がしくなった。「再軍備」や「憲法九条の改正」が新聞で報道され、子供心にも不安が募った。

高校2年生の時、生徒会長になって、その就任あいさつで私は「吉田内閣打倒」と叫んで、校長から無期謹慎処分を受けてしまった。憲法の戦争放棄と平和主義が否定され、戦争のできる国に逆もどりすることは、どんな理屈があっても納得できないことであった。

73年間、日本人がこの憲法の平和主義を変えなかったことに、私は大きな誇りを感じている。この国とこの国の憲法に栄あれ。（「全国首長九条の会ニュース」第3号）